

指定管理施設（ かさはら福祉センター ）事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和4年度の実施状況		令和5年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R4 年度	R5 年度					
高齢者、障害者等に関すること	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・来所や電話により相談を受け、適切なサービスにつなぐ事及び適切なアドバイスを実施した。また、必要に応じて、関係機関（民生児童委員等）との調整を行った。 ・受付において気軽に声をかけるほか、掲示物を見ている方に声をかけて、日頃から相談しやすい雰囲気づくりに努め、来館者からの話も積極的に伺った。 ※より効果的で効率的に相談ができる場として、医療講座の充実を図った。
		地域包括支援センター職員の協力のもと、介護や生活に関する相談に応じる。	-	随時	高齢者及び障がい者等からの健康相談や福祉相談を受け、必要に応じて自宅訪問を行う。 身体状況の把握と管理			—	—	—	—	
		健康相談	-	年3回程度				3	48	2	30	
		小計	0	—	—	—	—	3	48	2	30	
		計	0	—	—	13	13	3	48	2	30	
高齢者の教養講座等の実施に関する事	1	高齢者等の生活、健康に関する講座の実施	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・笠原地域福祉協議会、地域包括支援センターおよび保健センター等との共催事業として実施し、一般来館利用者等に、窓口で参加等の働きかけをした。 ・令和4年度に実施した2回のアンケートの結果を受け体操等の体を動かす講座が特に人気があり、継続して実施した。 ・笠原地域福祉協議会だよりにて毎月の教室のお知らせをして、周知を図った。
		健康づくり「貯筋体操」	12	月1回	・高齢者の心身機能の維持・向上を図るとともに、仲間づくり、生きがいづくりを助長する。			22	262	21	245	
		健康づくり「バランスボールを使った体操」	3	年3講座 (1講座: 10回)				29	449	30	456	
		健康づくり「リンパ・ドレナージュ」	24	月2回				24	298	20	262	
		健康づくり「3B体操」	24	月2回				23	269	22	251	
		健康づくり(初心者)	4	年4回				0	0	24	175	
		健康麻雀						0	0	0	0	
		健康づくり	24	月2回				0	0	0	0	
		詩吟教室						12	134	12	84	
		教養知識	12	月1回				24	93	24	79	
		折り紙教室						0	0	0	0	
		教養知識	24	月2回				0	0	0	0	
		パッチワーク教室						1	30	0	0	
		教養知識	12	月1回				50	1,177	49	1,203	
		絵手紙教室						1	13	0	0	
		教養知識	1	年1回				0	0	0	0	
		シルバークッキング						1	21	2	21	
		教養知識	48	月4日				2	42	1	15	
		麻雀教室						1	18	2	45	
		教養知識	1	年1回				2	31	2	25	
		朴葉寿司づくり						2	22	2	30	
		教養知識	2	年2回								
		料理教室										
		教養知識	2	年2回								
		スマートフォン教室										
		介護予防	2	年1回以上								
		家族介護教室										
		介護予防	2	年1回以上								
		認知症サポーター養成講座										
		介護予防	3	年3回								
		認知症予防講座										
		介護予防	4	年4回								
		介護予防教室										
		小計	204	—	—	—	—	194	2,859	211	2,891	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和4年度の実施状況		令和5年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R4 年度	R5 年度					
		医療講座	回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・令和4年度に実施した2回のアンケートの結果で健康へのニーズが非常に高かったこともあり、脳神経外科医師・消化器外科医師・循環器医師・心臓血管医師・理学療法士・管理栄養士等の専門職に依頼して、テーマを決めて講義を実施した。講義終了後に質疑応答の時間をもうけて、健康の維持増進の知識向上や不安解消を行った。
		公開医療講座	12	月1回	医師、薬剤師、理学療法士等から、生活習慣病等の予防法やフレイル予防を習得する。			0	0	11	186	
		小計	12	—	—			0	0	11	186	
		計	216	—	—	9	11	194	2,859	222	3,077	・
地域福祉増進のための講座等に関するこ	1	生きがい健康塾	11	月1回	同世代の利用者相互が、身近な地域を散策や健康に関する講話を聴く事により、引きこもり防止を図る。			35	666	34	664	・地域福祉協議会が主催する講座に、地域包括支援センターが協力して実施した。 ・高齢者の引きこもり予防策として実施し、季節に合わせた内容やフレイル予防に配慮したメニューを実施した。 ・講師を招きガーデニングを通じて仲間づくりをすると共に生きがいづくりを行った。
		教養知識 ガーデニング講座	4	年4回 (四半期ごと)	利用者相互がガーデニング知識を習得することにより、生きがいづくりの場とする。			4	68	3	54	
		小計	15	—	—	—	—	39	734	37	718	
		計	15	—	—	13	13	39	734	37	718	
ととセ地の ン域 タ福祉 連携、協 働、周 辺に福 祉包 括支 援こ	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・かさはら福祉まつりを実施して、笠原地区の関係団体が、企画運営に携わり、多くの地域住民が来場した。それに伴い、参加団体相互の交流を図ると共に、来場者が掲示物や作品を観て、福祉増進を図った。 ・障害者福祉センターおよび笠原地域にある障がい者・児施設の事業を紹介した。また、障がい者福祉センターが発刊している機関紙の配布も行った。
		かさはら福祉まつり (地域社協主催)	1		校区内の福祉関係団体の交流・連携と福祉センターのPR			0	0	1	500	
		障がい者施設との連携		随時	笠原地域の障がい者施設を紹介し、住民への周知と理解を促す。			—	—	—	—	
		小計	1	—	—	—	—	0	0	1	500	
		計	1	—	—	—	9	0	0	1	500	—
と福 祉 関 係 団 体 と の 連 携 、 支 援 に 関 す る こ	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・作業室を利用希望団体に開放し、印刷・製本作業が自由に行える環境とし、地域住民の自主的な活動やボランティア活動の促進を図った。 ・印刷機等の使用方法の説明及び消耗品の補充、機械の点検を行った。 ・イベント事業に伴うポスターの掲示に協力した。 ・笠原地域民生児童委員協議会6/14、多悠連笠原校区連合会6/5に出席し、情報収集を行った。
		各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	—	随時	各種団体が、利用しやすいように機械の整備及び作業室の整理整頓を行う。また印刷機の使用方法的説明を行う。			—	—	—	—	
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	2		情報交換、協力、支援			1	35	1	34	
		民生児童委員協議会との連携	11	月1回				1	20	1	22	
		小計	13	—	—	—	—	2	55	2	56	
		計	13	—	—	9	9	2	55	2	56	—

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度評価		令和4年度の実施状況		令和5年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
						R4 年度	R5 年度					
ボランティアの養成に関すること	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・共有スペースで活動紹介をした。また、イベントの案内のためのチラシの設置スペースを開設し、各団体の広報活動を促進した。 ・健康についての問い合わせが多く聞かれており、健康に関する情報を積極的に掲示した。 ・福祉協力校として、地元の小中学校の取り組みを紹介した。
		福祉センター正面玄関に掲示板を設置し、各種講座、ボランティア団体の活動紹介を実施する。	-	随時	募集チラシなどの掲示希望団体から出されたものを掲示し、各団体の活動を支援する。			—	—	—	—	
		ボランティア情報コーナーの設置	-	随時	ボランティアの募集や養成講座の開催等に関する情報を掲示する。			—	—	—	—	
		ベルマーク及び古切手募集コーナーの設置	-	随時	身近なボランティア参加として協力を呼び掛ける。			—	—	—	—	
		福祉教育	-	随時	かさはら福祉センターを拠点に福祉活動を啓発する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	0	0	0	0	
		計	0	—	—	—	—	0	0	0	0	—
その他高齢者及障害者の福祉増進のため必要な事業	1		回数	実施日	ねらい			実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	・高齢者が気軽に利用できるように開放し、集いの場となりうるようにした。職員からも積極的にあいさつ、声掛けをした。 ・常設のコグニサイズレーンを設置し、手と足を同時に動かすことで脳と体のバランスを保てるよう、自主的に取り組むよう来館者に声をかけた。 ・健康情報誌を毎月1回、掲示及び配布して健康増進を図った。
		コグニサイズ		随時	転倒予防等、軽運動の実施			—	—	—	—	
		健康情報紙の発行	12		フレイル予防及び健康増進			12	—	12	—	
		ヘルストロン、健康器具、囲碁、将棋、ビリヤード、カラオケ等の施設の開放及び管理を実施する。	-	開館日	個人でも気軽に安心して利用できるように仲間づくりの場を提供する。			—	—	—	—	
		小計	0	—	—	-	-	12	-	12	-	
		計	0	—	—	13	13	12	-	12	-	

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等でない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点